

## 消費者団体と日本冷凍食品協会との意見交換会について

1. 実施日：平成 21 年 10 月 19 日（月）  
10 時 00 分～12 時 30 分
2. 場所：東京會館
3. 参加者：(団体名五十音順)  
主婦連合会、消費科学連合会、全国消費者団体連絡会、  
全国地域婦人団体連絡協議会、東京消費者団体連絡センター、  
(財)日本消費者協会
4. テーマ：(1) 原料原産地などの食品表示をめぐる問題について  
(2) 中国産冷凍食品の安全性について  
(3) 冷凍食品のクレームについて  
(4) その他
5. 概要：
  - (1) 原料原産地などの食品表示をめぐる問題について  
＜協会からの説明＞
    - ・原料原産地表示に関する農林水産省及び当協会、東京都消費生活条例
    - ・冷凍食品メーカーの原料原産地表示を含めた情報開示状況
    - ・原料原産地のパッケージ表示による問題や課題、ホームページ等を活用した情報開示の課題  
＜消費者団体からの質問、意見＞
    - ・原料原産地表示について、大手事業者は対応できても中小事業者は対応できるのか？→(答) 中小事業者の中には対応不十分なところもあると思うので協会会員に徹底する。
    - ・原料原産地表示は安全情報ではなく付加価値情報であるが、リスク情報として捉えられている問題がある。消費者は表示と安全を混同している。
    - ・原産地表示に限らず、取扱い上の注意点などでもメーカーには分かりやすい表示を心がけて欲しい。
    - ・消費者自身も情報開示をメーカーに求めるだけでなく積極的に情報を収集し、学習する姿勢が必要である。
    - ・消費者が表示に何を求めているのかをメーカーはもっと議論して対応すべきだ。

## (2) 中国産冷凍食品の安全性について

### <協会からの説明>

- ・消費者団体を対象に8月に実施した中国視察ツアーの内容（工場視察、原料供給地視察、中国政府との会談等）

### <消費者団体からの意見>

- ・中国が輸出食品の安全について、その信頼回復にかける施策や投資の徹底さに驚いた。中国には実行力があり日本も学ぶべきところも多い。
- ・中国の輸出食品の安全管理体制は日本より厳しいと思われる。中国産といえども安全な商品が日本に輸入されていることを協会がもっとPRすべきだ。
- ・日本の消費者は中国産食品の安全性や管理状況を理解していないので、消費者団体と協会、場合によってはメディアとの共催で一般消費者等を対象とする今回の中国ツアー報告会を開催してはどうか。

## (3) 冷凍食品のクレームについて

### <協会からの説明>

- ・消費者等から寄せられたクレームの内容、冷凍食品の流通上の温度管理を徹底する啓蒙活動等

### <消費者団体からの質問、意見>

- ・小売店員には冷凍食品やその取扱いの注意点等について必要最小限の知識を持ってもらいたい。
- ・クレーム情報はメーカーにとってマイナス情報かもしれないが、それを公開してはどうか。それによって消費者の信頼度が増すことになり、消費者自身も冷凍食品を考える良い機会となる。
- ・低価格化が進んでいるがコスト削減で安全や品質に影響が出ないか？→（答）メーカーの規模を問わず、安全を犠牲にしてまでの低価格対応は絶対がない。

## (4) その他

- ・協会側から、協会が作成した「食品安全ハンドブック Vol. 1」及び「消費者意識調査」の内容について紹介した。

次頁に写真掲載↓



(当協会浦野会長挨拶)

